

# 日本保育学会第八回大会記事

第八回大会は、昭和三十年五月二十一日(土)、二十二日(日)の  
 両日、お茶の水女子大学(東京都文京区大塚)の講堂を会場として  
 開催された。

この大会の来会者は、第一日・第二日の両日とも約一二〇〇名で  
 あつた。

今大会で特記すべきことは、第一に、本会創立以来の会長である  
 倉橋惣三先生が逝去されたため、その追悼講演会が、日本幼稚園協  
 会との共催で、ひらかれたことである。次に、役員の変更、新会長  
 の選出、をあげることができる。その結果、次のようにきまつた。

日本保育学会役員(昭和三十年五月二十一日選任)

会 長 山下 俊郎  
 副会長 小川 正通 莊司 雅子  
 委 員 (○印常任委員)  
 秋田 美子 及川 ふみ 大西 憲明  
 岡田しげの 小川 正通 上村 哲彌

城戸幡太郎 児 玉省 斎藤 文雄  
 島津 峯真 莊司 雅子 周郷 博  
 鈴木 とく 鈴木 信政 副島 ハマ  
 竹田 俊雄 珠川 善子 玉越 三朗  
 津守 真 西本 脩 根岸 草笛  
 波多野完治 平井 信義 古木 弘造  
 堀 要 松村 康平 三木 安正  
 宮内 孝 村山 貞雄 森脇 要  
 守屋 光雄 山崎ときの 山下 俊郎  
 横田栄三郎 吉見 静江  
 会計監査 牛島 義友

これに先立ち、昭和三十年度総会が、山下俊郎副会長を議長とし  
 て進められ、昭和二十九年度事業報告(竹田常任委員報告)同会計  
 決算報告(村山常任委員報告)が承認され次期大会は、根岸草笛氏  
 が準備委員長となつて、準備にあたることになつた。

なお本大会は、関東で準備がなされ、(準備委員長)松村康平、(副委員長)平井信義、その他、神谷映子、お茶の水女子大学家政学部児童学研究室の助手・千羽喜代子、研究生・森脇多恵子、古川裕、守永英子、児童学科学生、幼稚園教員養成生、大学事務職員たちが主として、会場の準備・運営にあつた。

大会期日が二日にわたつたのは、今回はじめであり、プログラムの編成にも新しさを加え、例えば、研究発表者にあらかじめ概要を提出してもらつて、プログラムにいれることができた。また、規定の時間通りに研究発表が、そつなくおこなわれ、内容的にも学会としての体裁をようやくとのえてきたと感ぜられた。

かうして、本大会は、一応の成功をおさめ得たと思われる。

運営にあつては、フレイベル館・ひかりのくに社・チャイルドブック社・よいこのくに社・福音館の援助を得ることができ、映画上映にあつては、稲垣・五百旗頭両氏に一方ならぬご協力を得たし大会の記事整理にあつては、児童学研究室関係者、ことに千羽さんの労をおしまぬ努力に、多くを負つている。紙上をかりて、謝意を表する次第である。大会のシンポジウム・共同研究発表記事(本邦幼児の発達基準の研究)は、紙数の都合で、「幼児の教育」次号に掲載の予定である。(松村康平記)

### ▽九月号の増頁について△

本誌九月号は例年どおり日本保育学会の発表を特集いたしましたので、毎月の定頁五十二頁を超過し、八十頁といたしました。

また本学会に多少とも協力するため、定価も五十円として据置きにいたします。

株式会社 フレイベル館

### 幼児の教育 第五十四巻 第九号

定価金五十円

昭和三十年八月二十五日印刷

昭和三十年九月一日発行

東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大学附属幼稚園内

編集兼

発行者 津 守 真

東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大学附属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

印刷所 東京都板橋区志村町五番地 凸版印刷株式会社

発売所 東京都千代田区神田小川町二ノ五 株式会社 フレイベル館

振替口座東京一九六四〇番

○本誌御購読についての御注文は発売所 フレイベル館にお願い致します。